２　交通局令和８年度の予算編成について

（１）基本的な考え方

市営交通事業は、市バス・地下鉄の一体的なネットワークにより、市内全域で交通サービスを提供し、令和６年度においては１日約 157 万人のお客さまにご利用いただいており、市民生活、都市活動を支える重要な都市基盤としての役割を果たしています。

令和８年度は、名古屋市営交通事業経営計画2028の理念である安全・安心、快適・便利な交通サービスを提供するという変わらぬ使命を果たし、名古屋のまちの将来に貢献できるよう、事業環境が大きく変わる時代に適応しながら持続可能な経営を実現するため、以下に掲げる事項について、重点的に取り組んでまいります。

（２）主要事項

①安全・安心の推進

お客さまに安全に、安心して市バス・地下鉄をご利用いただけるよう、輸送の安全性の向上、災害対策やセキュリティの強化を図るとともに、施設などの計画的な維持管理を進めます。

②快適性・利便性の高いサービスの提供

お客さまの快適性・利便性を高めるため、施設のリニューアルや誰もが利用しやすい環境づくりを進めるとともに、お客さまのニーズに対応したサービスの提供に取り組みます。

③まちの将来に向けた行動

名古屋のまちの将来を見据え、交通事業者として、まちづくり等との連携や環境負荷の低減、子ども・子育てのサポートのために行動します。

④持続可能な経営の確立

将来にわたって安定的に交通サービスを提供し続けるため、収入増加策の展開や事業運営の省力化・効率化などの経営改善に努めるとともに、人材の確保や職員力の向上を図ります。

（３）新規・拡充事項

（単位：百万円）

番号	事　項　名	概　　要	令和７年度予定額	令和８年度予定額
1	バスドライブレコーダーの機能強化	ドライブレコーダーの映像を遠隔操作で確認し、非常時等に迅速に対応できるよう、クラウドシステムを導入	－	67
2	バス車両の更新	計画的なバス車両の更新 101両	2,909	2,716
3	鶴舞線可動式ホーム柵の整備	可動式ホーム柵の製造及び設置 順次稼働 平針駅・赤池駅	1,862	535
4	地下鉄車内カメラの設置	安全利用のため、地下鉄車内を撮影するカメラを設置 東山線54両（９編成） 名城・名港線30両（５編成）	24	43
5	地下鉄駅のリニューアル	駅の壁・床・天井・照明などのリニューアル 工事　７駅 設計　３駅	151	84
6	地下鉄駅構内トイレのリニューアル	全便器の洋式化をはじめとした改修 工事　11駅13箇所 設計　５駅５箇所	987	419
7	地下鉄駅エレベーターの整備	バリアフリールートの充実等を図るため、駅エレベーターの工事等を実施 工事　５駅 設計　２駅 調査　１駅	2,601	1,222
8	地下鉄駅ホームと車両の段差・隙間の改善	誰もが乗降しやすくなるよう、ホーム先端部のかさ上げ等を実施 名城・名港線７駅 桜通線	488	699
9	地下鉄駅ホームの冷房化	駅ホームへの冷房設備の整備 工事　４駅 設計　１駅	324	178
10	授乳室の設置	お子さま連れで利用しやすい環境を目指し、授乳室を駅構内に設置 東山公園駅	－	4

（単位：百万円）

番号	事　項　名	概　　要	令和７年度予定額	令和８年度予定額
11	キャッシュレス化の推進	クレジットカードタッチ決済等の導入に向けた自動改札機の改修 クレジットカードタッチ決済 令和８年度導入 二次元コードを使用した乗車券 令和９年度導入予定	85	828
12	デジタルサイネージ広告の設置	東山線車内デジタルサイネージ広告を21編成から41編成へ拡大 名古屋駅複数面連動型デジタルサイネージ広告の増設	7	268
13	照明のＬＥＤ化	バス停標識や駅構内等の照明を省エネ効果の高いＬＥＤへ改修	1,505	1,841
14	定期券ＷＥＢ予約サービスの導入	定期券購入の利便性向上を図るため、ＷＥＢ予約サービスを導入	27	517
15	健康経営の導入	組織的に職員の健康増進を図るため、健康課題に基づいた推進計画を策定・推進	－	5
16	安定的な人材確保	計画的・安定的に職員を確保するため、採用選考の応募者数を増加させる取組みを実施	1	12
17	ＤＸに向けた業務プロセスの最適化（ＢＰＲ）	効果的なＤＸ推進のため、業務プロセス最適化の取組みを実施	－	8
18	地下鉄駅ホームへの乗車位置案内図の設置	アジア・アジアパラ競技大会に向けて、降車駅での乗換等の利便性向上のため、乗車位置案内図を地下鉄駅のホーム階に設置	－	10
19	地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に向けた検討	地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に向けた条件等の検討を実施	－	25
20	戦略的な利用促進策の展開	敬老パス利用者・観光客・市バスを利用していない若年層をターゲットとして絞り込んだ利用促進策を展開	54	43

（４）使用料・手数料改定等

（単位：百万円）

番号	事　項　名	概　　要	実施時期	令和８年度影響額
1	貸切自動車運賃・料金の改定	国の貸切自動車に係る公示運賃・料金見直しに伴う改定（条例改正予定） （現行） 時間制運賃 大型車　１時間当たり 9,750円 中型車　１時間当たり 8,230円 距離制運賃 大型車　１km当たり 200円 中型車　１km当たり 180円 （改定後） 時間制運賃 大型車　１時間当たり 10,620円 中型車　１時間当たり 8,960円 距離制運賃 大型車　１km当たり 220円 中型車　１km当たり 190円 など	8年7月	9

（５）令和８年度自動車運送事業会計予算

①収益的収支　　（単位：百万円）

区分		令和８年度予定額	令和７年度予定額	差引増△減
収入	運輸収益	17,828	17,692	136
	一般会計補助金	7,754	7,532	222
	運輸雑収等	5,836	6,058	△ 222
	計（A）	31,418	31,282	136
支出	人件費	14,971	14,700	271
	経費	12,464	12,381	83
	減価償却費	3,008	2,799	209
	支払利息等	315	389	△ 74
	計（B）	30,758	30,269	489
A － B		660	1,013	△ 353
累積欠損金（△）		△ 34,786	△ 35,514	728

②資本的収支　　（単位：百万円）

区分		令和８年度予定額	令和７年度予定額	差引増△減
収入	企業債	3,967	4,175	△ 208
	その他資本収入等	64	32	32
	計（A）	4,031	4,207	△ 176
支出	建設改良費	4,089	4,264	△ 175
	企業債償還金等	2,615	1,958	657
	計（B）	6,704	6,222	482
A － B		△ 2,673	△ 2,015	△ 658

（注）資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

（６）令和８年度高速度鉄道事業会計予算

①収益的収支　　（単位：百万円）

区分		令和８年度予定額	令和７年度予定額	差引増△減
収入	運輸収益	86,703	83,340	3,363
	一般会計補助金	4,101	4,451	△ 350
	運輸雑収等	10,643	10,321	322
	計（A）	101,447	98,112	3,335
支出	人件費	29,993	28,855	1,138
	経費	29,690	29,130	560
	減価償却費	24,053	23,694	359
	支払利息等	7,584	7,299	285
	計（B）	91,320	88,978	2,342
A － B		10,127	9,134	993
累積欠損金（△）		△ 168,893	△ 180,982	12,089

②資本的収支　　（単位：百万円）

区分		令和８年度予定額	令和７年度予定額	差引増△減
収入	企業債	13,777	13,071	706
	出資金	3,212	3,491	△ 279
	一般会計補助金等	2,725	4,082	△ 1,357
	計（A）	19,714	20,644	△ 930
支出	建設改良費	17,936	18,900	△ 964
	企業債償還金等	30,832	47,525	△ 16,693
	計（B）	48,768	66,425	△ 17,657
A － B		△ 29,054	△ 45,781	16,727

（注）資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で措置します。